

### (南加賀医療圏)

- ・ 高度急性期と回復期の医療機関の間で、脳卒中のクリティカルパスをやっており、現状において連携は上手くいっている。今後はその関係をさらに深めていけばよいと感じている。
- ・ 10年前に整形の急患の受入について、ゆるやかな輪番を試みたが、それぞれの病院でレントゲン技師の体制がオンコールと当直ではバラバラだったため、上手くいかなかった。医師以外のコメディカルの状況についても情報共有できればありがたい。
- ・ 昨年の加賀市医療センターにおける応需率は99.2%となっており、ほぼ受け入れできている。今後も加賀市内の救急患者を受け入れていく。どうしても当院で治療ができないという場合は、小松市民病院へお願いしたい。
- ・ 急病の数が増えているとされているが、内訳が知りたい。消防庁の統計データでは、一番多いのが、兆候、診断名不明確の患者となっている。臓器別の疾患名がわかれば地域の医療体制が維持できているかの議論ができるので、入院時の症状や転帰がどうなったかなどを知りたい。